

令和元年度  
市民ワークショップ  
「しぶかわ まちづくりカフェ」  
実施結果報告書

**2019**

令和元年10月

# 目 次

I	「しぶかわ まちづくりカフェ」について	1
1	開催目的	1
2	開催概要	1
	(1) 一般ワークショップ	1
	(2) 高校生ワークショップ	1
	(3) 実施手法	1
3	参加状況	2
	(1) 一般ワークショップ	2
	(2) 高校生ワークショップ	2
4	話合いのテーマ	2
5	進め方	3
II	まちづくりに対する意見等について	4
1	全体概要	4
2	まちづくりに対する主な意見等	5
III	参加者アンケート結果	7
1	「しぶかわ まちづくりカフェ」の満足度	7
	(1) 一般ワークショップ	7
	(2) 高校生ワークショップ	7
2	満足度の理由	7
	(1) 一般ワークショップ	7
	(2) 高校生ワークショップ	8
3	「新たな気づきがあった」「自分の意見が変わった」「より考えが深まった」部分	8
	(1) 一般ワークショップ	8
	(2) 高校生ワークショップ	9
4	「しぶかわ まちづくりカフェ」について	9
	(1) 一般ワークショップ	9
	(2) 高校生ワークショップ	9

## 1 開催目的

市民ワークショップ「しぶかわ まちづくりカフェ」は、市民の本市に対する評価や意向等を把握し、まちづくりの指針である総合計画の進行管理や市政運営の基礎資料とすることを目的として開催しました。

## 2 開催概要

### (1) 一般ワークショップ

市民意識調査の対象者や公募の市民を対象として、子育て支援総合センターにて開催しました。



### (2) 高校生ワークショップ

市内 4 つの高等学校（渋川高等学校、渋川女子高等学校、渋川青翠高等学校、渋川工業高等学校）に通う第 2 学年の生徒を対象として、渋川女子高等学校にて開催しました。



### (3) 実施手法

「ワールドカフェ」の手法により実施しました。「ワールドカフェ」とは、リラックスした雰囲気の中、参加者を小人数のグループに分け、度々メンバーを交換することにより、参加者全員が知識や考えを共有でき、多様な意見の創出が期待される手法です。

### 3 参加状況

#### (1) 一般ワークショップ

##### ① 日程・会場・参加者数

日程	会場	参加者数 (人)
7月7日 (日) 14:00~16:00	子育て支援総合センター	16

##### ② 参加者の年代構成

年代	参加者数 (人)
30代	3
40代	4
50代	2
60代	2
70代	2
80代	3
合計	16



#### (2) 高校生ワークショップ

##### ① 日程・会場・参加者数

日程	会場	参加者数 (人)
8月26日 (月) 14:00~16:30	渋川女子高等学校	28

##### ② 参加者の構成

学校	参加者数 (人)
渋川高等学校	8
渋川女子高等学校	8
渋川青翠高等学校	5
渋川工業高等学校	6
合計	27



### 4 話合いのテーマ

区分	テーマ
一般ワークショップ	① 渋川市の強み、渋川市らしさ
高校生ワークショップ	② 渋川市の将来

## 5 進め方

### 第1ラウンド テーマについて探求する

【約10分】

参加者は、4人ずつテーブルに分かれて、市職員から当日の進め方などについて説明を受けます。

説明が終了したら、自己紹介、共通点探し（アイスブレイク）の後、テーマについて意見を出し合います。



### 第2ラウンド アイデアを他家受粉する

【約10分】

各テーブルに1名（ホスト）を残して、他の参加者は別々のテーブルに移動します。

新しいテーブルで自己紹介後、前ラウンドで話し合った内容を紹介し、更に意見の出し合いを続けます。



### 第3ラウンド 気づきや発見を統合する

【約10分】

ホストを残して、他の参加者は第1ラウンドのテーブルに戻ります。

第2ラウンドで話し合った内容を紹介し、更に意見の出し合いを続けます。



### 第4ラウンド 集合的な発見を収穫・共有する

【約20分】

各テーブルに配置した市職員が、話し合った内容を発表し、参加者全体で共有します。



最後に、全体を通しての意見を付箋に書き出し、パネルに貼り付けます。他の参加者の意見を知ることによって、改めて参加者全員で意見等を共有します。



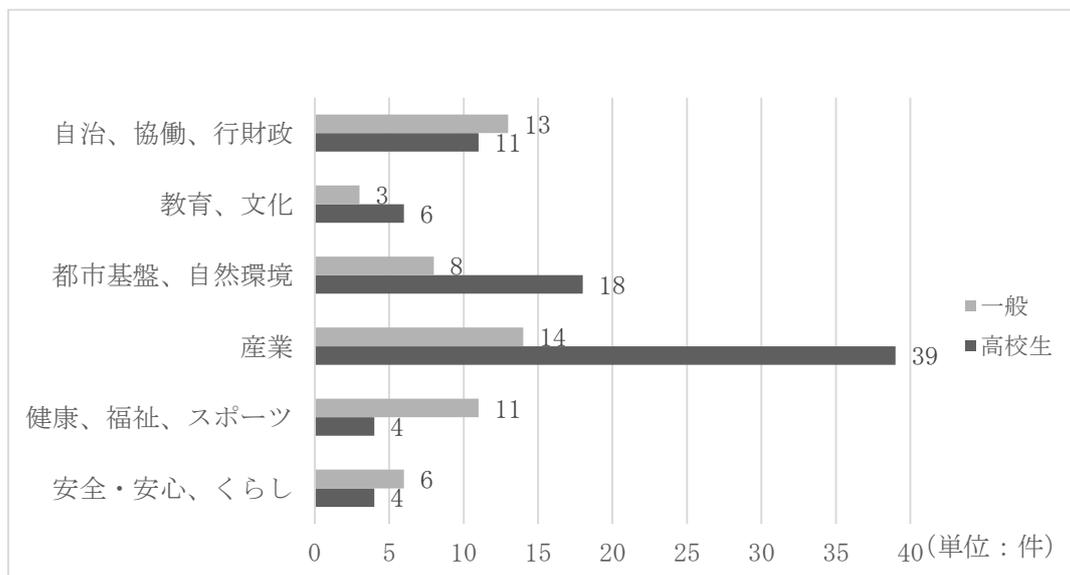
## Ⅱ

# まちづくりに対する意見等について

## 1 全体概要

「しぶかわ まちづくりカフェ」にて出されたまちづくりに対する意見等は、一般ワークショップ 55 件、高校生ワークショップ 82 件でした。これを第 2 次総合計画における 6 つの施策の分野別にまとめると、意見数は以下のとおりとなりました。

これを見ると、一般ワークショップ、高校生ワークショップのいずれも産業分野に関する意見が最も多く見られました。



## 2 まちづくりに対する主な意見等

「しぶかわ まちづくりカフェ」にて出たまちづくりに対する主な意見等をキーワードごとに第2次総合計画の施策の分野別に整理しました。なお、複数の分野に該当する意見については、主な分野に記載しています。

分野	テーマ	一般	高校生
安全、 安心、 くらし	①市の強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災面で安全安心な地域づくりに努めている</li> <li>災害が少なくよいまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方々がよく挨拶をしてくれる温かくやさしいまち</li> </ul>
	②市の将来	<ul style="list-style-type: none"> <li>金銭面の援助だけでなく、防犯カメラなどハード面での取組も大切</li> <li>障害者の支援を含めた防災訓練を実施すべき</li> <li>高齢者の力を借りて児童生徒が安全に通学できるようにすべき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活道路や街灯等の整備を充実させ、安全なまちづくりをしてほしい</li> </ul>
健康、 福祉、 スポーツ	①市の強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援サービスが充実しているところを積極的にPRしていくべき</li> <li>高齢者はいろいろなスポーツ（グランドゴルフ、マレットゴルフなど）で頑張っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護施設が多く、高齢者にやさしいまち</li> </ul>
	②市の将来	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育士の人材確保のため、保育士の待遇を改善する</li> <li>伊香保を中心としたスポーツ合宿の誘致</li> <li>しぶかわスポーツクラブの陸上競技場の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市総合公園や子持社会体育館等で、スポーツイベントの実施や合宿の誘致をしてはどうか</li> <li>ジムなど、気軽に運動できる場所をつくってほしい</li> </ul>
産業	①市の強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国に誇れる温泉が多くある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内に伊香保温泉等の観光資源がある</li> </ul>
	②市の将来	<ul style="list-style-type: none"> <li>若い人に市内に住み続けてもらうために、企業の誘致やサテライトオフィスの誘致など、職の充実が重要</li> <li>高齢者がそれぞれ自分の居住区で買物できる場所や交流できる場所があるといい</li> <li>駅前などに大人も若者（中高生）も集まれるカフェや図書館などの居場所が欲しい</li> <li>地域で集える場所を確保してほしい</li> <li>公共交通機関を利用して伊香保温泉へ行く観光客に、伊香保温泉以外にも立ち寄ってもらえるように、路線図や時刻表に市内の美術館遊園地などの見所を記載したり、景観を改善したりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内に企業を誘致する</li> <li>企業が事業を推進しやすいまち</li> <li>J R 渋川駅前を中心に利便性の高いまちづくりをすべき</li> <li>大型ショッピングモールやカフェ等の商業施設を整備し、市内に人が集まるようにすべき</li> <li>人（特に若年層）が集まれる場所が必要</li> <li>観光資源について、広告、映像番組等を制作したり、SNSを利用したりして、更にPRすべき</li> <li>伊香保温泉などの観光地への交通利便性を更に高め、集客につなげるべき</li> <li>市内に坂が多いので、坂にちなんだ物とコラボレーションしてはどうか</li> <li>インスタ映えスポットを作ることで、若年層を市に呼び込みたい</li> </ul>

分野	テーマ	一般	高校生
都市基盤、自然環境	①市の強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもから大人まで生活しやすい環境にある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山や川に囲まれ、自然が豊かである</li> <li>意外と改善点が少なく、現状でもよいまち</li> <li>スーパーマーケットや飲食店など生活利便施設が整備されている</li> <li>ゴミのないきれいなまち</li> </ul>
	②市の将来	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の花あじさいがある小野池あじさい公園を充実させ、市を代表する公園としてほしい</li> <li>高齢者の交通事故が多いので、電車やバス等の公共交通体系を充実させ、利用促進する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都会と田舎の間のちょうどよいまちづくりを進めてほしい</li> <li>バスや電車等の公共交通体系を充実した方がよい</li> <li>遊休地を有効活用するべき</li> <li>豊かな自然環境をいかした遊べる場所があるとよい</li> </ul>
教育、文化	①市の強み		<ul style="list-style-type: none"> <li>市内に多く高校がある</li> <li>すたでいばんく、イン すたでいほーるなどの学習環境がある</li> </ul>
	②市の将来	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館に選書サービスを導入してほしい</li> <li>市立図書館のパソコンで、ヘッドホンを利用して学習できるようにしてほしい</li> <li>教育を地域みんなで担うような会議をして、行政を巻き込んで、渋川で子どもを育ていきたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>白井宿、渋川商工会議所等の文化財関連施設の歴史的な魅力を更に発信する</li> <li>市内の祭りを更に盛り上げるために高校生が呼びかけてはどうか</li> </ul>
自治、協働、行政	②市の将来	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもから高齢者まで楽しく居場所があるまちづくり</li> <li>子どもと高齢者が交流したり、お互いに協力できる場所や仕組みづくりが必要</li> <li>子育て面やまちづくり面で、困っている人と協力できる人がつながる仕組みが分かりやすくなるとよい</li> <li>若者と市長と直接意見交換してはどうか</li> <li>市からの情報を入手する手段としてほっとマップメールを多くの人に利用していただきたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まず自分たちが市についてよく知るようにしたい</li> <li>市内高等学校4校で交流を行ったり、市へ提言を行ったりしていきたい</li> <li>「渋川市と言えばこれ」といった市への統一したイメージを作るべき</li> </ul>

### Ⅲ 参加者アンケート結果

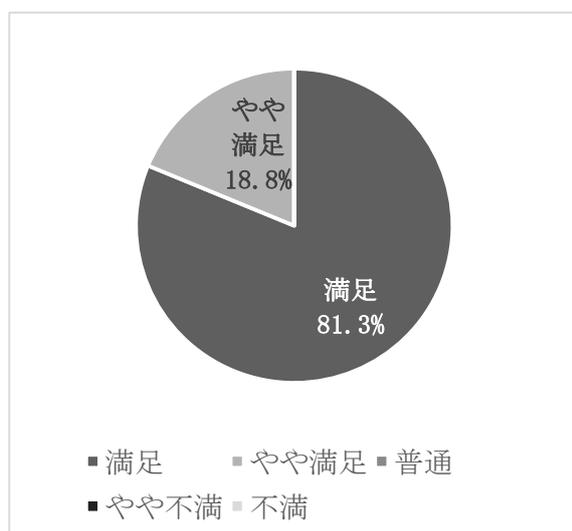
参加者に対して、終了後にアンケート調査を実施しました。「しぶかわ まちづくりカフェ」の満足度や自由記述の主な意見を以下に示します。

なお、内容が同じものについては集約して記載しています。

#### 1 「しぶかわ まちづくりカフェ」の満足度

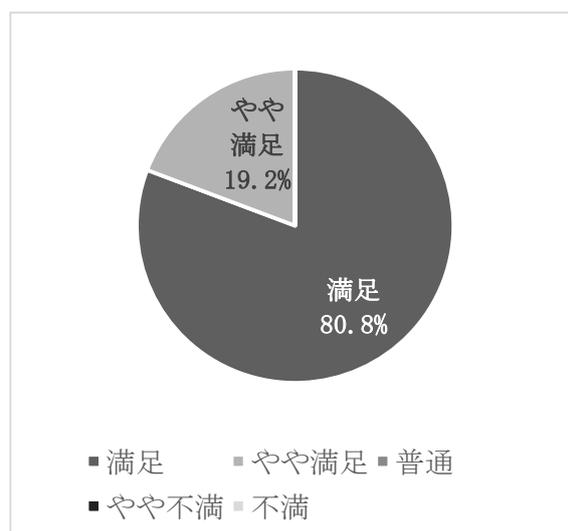
(1) 一般、(2) 高校生のいずれも「満足」(一般、高校生ともに 81%) が最も高くなっています。「普通」、「やや不満」、「不満」の回答はありませんでした。

##### (1) 一般ワークショップ



回答者 n = 16

##### (2) 高校生ワークショップ



回答者 n = 26 ※無回答者 1

#### 2 満足度の理由

##### (1) 一般ワークショップ

###### 【満足】

- ・いろいろな年代や居住地、職種の方からいろいろな意見を聞くことができ、楽しかった
- ・2時間という時間がちょうど良かった
- ・渋川市にも良いところがあることが分かった

###### 【やや満足】

- ・年齢に差があったので、いろいろな考え方があること、行動が異なることを知ることができ、面白かった

## (2) 高校生ワークショップ

### 【満足】

- ・他校の高校生と話し合うことができ、貴重な経験となった
- ・渋川市の良さを再確認し、自分の知らない渋川市の魅力を知ることができた
- ・市が高校生の意見を取り入れて市を良くしていこうとしていることに共感した

### 【やや満足】

- ・いろいろな意見を持っている人と関われたので良かった
- ・市内に住んでいる人との交流により、渋川市について新たな情報を得ることができた

## 3 「新たな気づきがあった」「自分の意見が変わった」「より考えが深まった」部分

### (1) 一般ワークショップ

- ・市の将来について、参加者が前向きで真面目に考えている印象があったので、今後に大いに期待できる
- ・高齢者の方から、「子育てに協力したい」、「少しでも子どもの面倒を見られると楽しい」と言ってもらえて有り難かった
- ・それぞれの年齢層にとってほっとできる居場所はどこにあるのか考えさせられた
- ・渋川市は子育て環境が良いという意見が多く、子育て世代としてはもっとPRしても良いのではと思った
- ・地域や学校に協力したい人が多くいたが、マッチングするための方策が見つからず、少し残念だった
- ・子どもと高齢者が自然に触れ合える機会をつくり、地域のつながりを深めていきたい
- ・市の防災への取組が活発であることを初めて知った
- ・給食費の無料化について、対象の方にとっては助かることだと思っていたが、財源の心配や、通学路の防犯カメラ設置など、他にしてもらいたいことがあることを初めて知った
- ・保育園が一杯で預けにくいというのにビックリした
- ・年配の方が「高校生が立ち寄れる場所がもう少しあれば」と考えてくれていることに有り難いと思った
- ・若い方が高齢者のことを考えてくれていることが分かり心強い
- ・生涯学習の充実という視点でインターネット環境を公的に整備することが大事だと思った
- ・自分が一人で考えていた課題を、他の大勢の人が似たような考えとして持っていることが分かった
- ・市、そして社会とこれからどのように関わっていくか、自分に何ができるかについて考えるいい刺激を得ることができた

## (2) 高校生ワークショップ

- ・ SNSで発信することの影響力の高さ
- ・ただ都会を目指して発展させるのではなく、渋川市の強みをいかした発展のさせ方が大切だと気付いた
- ・自分がふだん住んでいない地区の人の考えや地区の現状を知ることができた
- ・四ツ角の有効活用
- ・市内に住んでいるので、小中学校で市について考えることはあったが、高校生になって改めて考えてみると、地域政策などいろいろな観点から考えられるようになった
- ・市外から通学しているので渋川市の施設をよく知らなかったが、全ての人に優しい施設が多いことが分かった
- ・いろいろなポジションの人たちのつながりが弱いと思った

## 4 「しぶかわ まちづくりカフェ」について

### (1) 一般ワークショップ

- ・もっと気軽に話せるようにできないか
- ・何年前にも参加したが、また参加したい
- ・第3ラウンドを話し合うときに少し戸惑った。更に話合いたいことくらいの方が話しやすいかもしれない
- ・意識の高い人の意見を聞くのはとても良かった。しかし、不満や不安を持っていても口に出していないサイレントマジョリティーはとても多いと思う
- ・各中学校や高校などと同じようなことができたら面白いと思った。
- ・若者世代、子育て世代、高齢世代で考える理想像は違うと思うが、どうすれば皆で共有し、理想に近づけていけるか、考えていきたい
- ・参加人数もまとまりやすく、意見も出しやすく、大変有意義な時間を過ごすことができたので、今後もこのような機会を設けてほしい

### (2) 高校生ワークショップ

- ・渋川市をいろいろな角度から見る良いきっかけとなった
- ・高校生が集まって地域について話し合うのはとても良い機会だった
- ・飲物やお菓子を食べながらリラックスして話のできたので、とても良かった
- ・定期的に実施してほしい
- ・全てを生徒に任せるのではなく、市の職員が意見をまとめてくれたので、話し合いがしやすかった